

令和6年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第一小学校長

令和6年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語科、算数科の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願い致します。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	67.7%					○
算数	63.4%	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	64.4%					○
情報の扱いに関する事項	86.9%				○	
我が国の言語文化に関する事項	74.6%					○
話すこと・聞くこと	59.8%					○
書くこと	68.4%	○				
読むこと	70.7%			○		

【考察】

- 毎日の授業や家庭学習において、学習した漢字や言葉を積極的に使いながら文章を丁寧に書くことを続け、また、辞典を活用して言葉の意味を理解しながら語彙力の向上に努めた結果、漢字や言葉を正しく使う力が向上しました。
- 「書くこと」の領域において、集めた情報を分類したり、関係付けたりしながら、自分の考えを書き表すことに課題が見られました。説明的な文章や資料の読み取りを中心に、資料の分類や段落相互の関係について考える場面を多く設定するなどして、書く力を高めていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	66.0%	○				
図形	66.3%	○				
変化と関係	51.7%					○
データの活用	61.8%				○	

【考察】

- 「思考力・判断力・表現力」を問う設問の正答率が、ほぼ全ての領域で全国平均を上回りました。授業において、問題の答えを求めるだけではなく、問題の解き方や自分の考えの理由を説明する活動に継続して取り組んできた成果が表れたと考えます。
- 「数と計算」の領域において、基礎的・基本的な計算に関して課題が見られました。式や答えの意味、計算におけるきまりなどを授業内でしっかりと確認していくとともに、朝の「ステップタイム」の時間を活用しながら、計算力及び内容を理解する力が確実に高まるよう指導をしていきます。

**令和6年度 全国学力・学習状況調査
質問紙調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河第一小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、その結果及び考察の一部をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、この結果を家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小 6	全 国	30.3	50.4	16.2	3.1
	白一小	30.3	51.5	15.2	3.0

(単位 %)

【考 察】

- 授業において学び合う時間を意図的に設け、様々な考えに触れる時間を多くすることで、多様な視点から課題を考えることができるようになっていきます。中には、考えることに対して消極的な児童もいるため、まずは自分なりの考えをもつことができるよう、一人追究の時間に意図的に支援し、意識改善に努めてまいります。
- 授業や単元テストを振り返る際に、自主学習につながる目標を自分なりに立てて取り組むなど、学び方を指導しながら、学習に対する意識改善を図ることができるよう努めてまいります。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小 6	全 国	11.0	12.5	31.1	27.0	13.0	5.3
	白一小	3.0	24.2	42.4	27.3	0.0	3.0

(単位 %)

【考 察】

- 意欲的に取り組んでいる児童を称賛するとともに、自主学習ノートを紹介したり、教室に掲示したりするなどの取組みを行った結果、学級全体の意欲を高めることができました。家庭の学習時間が増えることによって、学習内容を振り返る時間が増え、確実に学習内容を定着させることができました。
- 今後は、自己の課題に合った学習を進めることができるよう十分な家庭学習の時間を確保するとともに、自己分析をする時間を意図的に設け、自己マネジメント能力を高めていきます。また、家庭学習への取組み方を再度確認するとともに、内容の質を高める必要もあります。学んだ内容から自己の課題を決め、自己の学習状況を適宜、振り返りながら取り組むなど、質の高い家庭学習となるよう指導してまいります。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全国	31.9	48.9	16.0	3.1
6	白一小	42.4	36.4	21.2	0.0

(単位 %)

【考察】

- 授業において学習した内容を振り返りながら、自分の考えを修正する姿がうかがえます。今後はさらに、次の授業へとつながる見直しとなるよう、授業の終末段階での振り返りはもちろんのこと、次の時間にはどのような学習をしていくのかを予想させる時間を設けるなど、学習をつなげる意識を高める指導をしていきます。
- わかったつもりになり、その場での理解に終わってしまったり、わからないままにしてしまったりすることがないように指導していきます。学習内容と関連する問題を意図的に家庭学習の中で行わせる等、授業から家庭学習、家庭学習から授業の流れが連続するようにし、課題意識を持ちながら学習に取り組めるように指導をしていきます。

4 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

		発表していた	どちらかといえば 発表していた	どちらかといえば 発表していなかった	発表していなかった	考えを発表する 機会はなかった
小	全国	25.9	41.7	23.0	7.8	1.7
6	白一小	18.2	33.3	42.4	3.0	3.0

(単位 %)

【考察】

- 学校生活を通して、タブレットを活用する場面が増えてきており、様々な方法で自己の考えを表現することができるようになっていきます。タブレットの活用も含め、考えたりまとめたりする時間を十分確保し、様々な考えを交流させながら授業に臨んでいます。今後は、分からない部分や困っている部分を伝え合いながら、学習を進め、友だちにわかりやすく自分の考えを伝えることができるよう発表の場面を大切にしていきます。
- 発表できている児童が約半数いる中で、発表に対して消極的な児童も約半数いるという結果になりました。周りの友だちと考えを共有し合い、友だち関係を深めながら学習を進めることができたり、互いの考えを認め合うことができたりする学級づくり、授業改善に取り組んでまいります。